



港区新橋5-15-5  
交通ビル  
国鉄労組東日本本部  
発行責任者 伊藤秀樹  
編集責任者 伊藤隆夫

No.651 定価  
20円

2007年  
1月1日

# 新年特集号

## 国労東日本本部 第24回拡大委員会 2月4日(日)

組合員・家族の皆さん新年あけましておめでとうございます。  
一昨年、12月25日「羽越本線脱線・転覆事故」で5名の亡くなられたお客様のご冥福をお祈りする「羽越本線列車事故追悼慰霊祭」に出席し、改めて「安全・安定輸送」確立を誓い「献花」を捧げました。  
JR東日本においても、京浜東北線・山手線など電車が長時間運転できない「輸送障害」が発生しています。鉄道・運輸産業に従事する労働者で組織する労働組合として、「安全・安定」輸送の確立をめざす取り組みは最大の課題であり、常に何よりも「安全・安心」を最優先に労働組合が原点に立ち返った運動を続けていくことを強く訴えます。



### 安全・安心は最優先の課題 国労運動の歴史を踏まえ 和解から、組織拡大へ

執行委員長 伊藤秀樹

第2の課題は、国労東日本本部は昨年11月6日、中労委の場を通じて「JR東日本と国労東日本本部」との間で「配転・出向等40事件」「バッジ事件」が和解成立したことであります。中労委の場を通じて、12回に及ぶ和解調査を踏まえ「和解の趣旨を踏まえた公正・公平な人事と労務管理」「法令遵守と誠実な履行」「和解の趣旨・内容の周知徹底」などを確認し調印を行いました。  
申立からこの間、退職・死亡された組合員・脱退した組合員がいる中で、地労委・中労委の場で自分達の「扱われ」ごまを訴え、闘い続けてきた結果の中間的到達点であり、「配属差別事件」「昇進差別事件」の和解と本事件の和解成立をもつて「国労東日本本部とJR東日本」の係争事件はすべて終結し、「国労の将来展望」と「健全な労使関係改善」に向けた第一歩を踏みだしました。本年も昇進試験受験に向けた議論と「本事件の中間的総括運動」を深めることを組合員の皆さんに強く訴えます。

- 第3の課題は、組織の強化・拡大であり、国労組織にとって最重要課題であります。「配転・出向等40事件」「バッジ事件」の和解成立した後、平成17年採用者が国労加入され、引き続き3名の方々に国労に復帰して頂きました。「仕事総点検運動」通じた「職場の活性化」を図り、「技術力の維持向上」「安全・安定」輸送確立に向けた取組みを通じて、他労組組合員からも将来を委ね、選択される労働組合となるために、全組合員が自信と展望を持って共に日々奮闘する一年にしましょう。
- 第4の課題は護憲・平和・民主主義を守る闘いであり、昨年、国鉄労働組合結成60年を向かえました。国労は1951年の第10回新潟大会で「平和4原則」を定め、それ以来、国労は地域の仲間と共に「護憲・平和・反戦」の闘いに全力で取り組んできました。
- 今日まで多くの先輩が脈々と築いてこられた平和と民主主義を守り、将来に引き継ぎ広範な統一戦線を構築するために共に奮闘する一年にしましょう。
- 組合員・家族の皆さんのご健勝を祈念し、2007年、新年のご挨拶とします。  
2007年 元旦
- |                 |        |       |
|-----------------|--------|-------|
| 東日本本部           | 執行委員長  | 伊藤秀樹  |
|                 | 執行副委員長 | 藤野節   |
|                 | 書記長    | 高野苗美  |
|                 | 法対部長   | 山根主吉  |
|                 | 教宣部長   | 伊藤隆夫  |
|                 | 財政部長   | 武田幸喜  |
|                 | 調査部長   | 樋口孝重  |
|                 | 特別執行委員 | 町田建三  |
|                 | 青年部長   | 木村忠義  |
|                 | 婦人部長   | 佐々木久恵 |
|                 | 会計監査員  | 古川数行  |
|                 | 書記局    | 剣持英夫  |
|                 |        | 松本正吉  |
|                 |        | 金澤美津子 |
|                 |        | 松本久史  |
|                 |        | 中台信夫  |
|                 |        | 武笠道夫  |
|                 |        | 羽切信夫  |
|                 |        | 降旗好己  |
|                 |        | 渡辺栄一  |
|                 |        | 阿部洋子  |
| 国鉄退職者組合東日本連絡会会長 | 事務局次長  | 奥村博   |
| 国労家族会東日本連合会会長   | 事務局次長  | 吉田秋雄  |
| 東日本協議会          | 議長     | 木村昭光  |
| 貨物関東協議会         | 議長     | 岩井幸二  |
| 貨物東北協議会         | 議長     | 八百井登士 |
| 会社別協議会          | 議長     | 大倉満   |
| 自動車協議会          | 議長     | 小林忠彦  |
| 清算事業団協議会        | 議長     | 五味照善  |
| 協議会             | 議長     | 福士智夫  |
| 運輸職能別協議会        | 議長     | 武笠秀也  |
| 事務職能別協議会        | 議長     | 後藤征二  |
| 事務職能別協議会        | 議長     | 藤澤安男  |
| 工務職能別協議会        | 議長     | 大津幸夫  |
| 電気職能別協議会        | 議長     | 斎藤照明  |
| 事務職能別協議会        | 議長     | 高橋広   |
| 工作職能別協議会        | 議長     | 小池敏哉  |
| 事務職能別協議会        | 議長     | 小野浩美  |



新  
年  
賀

# 職場の不公平感をなくさせよう

# 最後は国労!!



藤野 節さん  
副委員長

加藤 私は「分割・民営」で、法案が国会で可決された後、法律が出来たんだから認めざるを得ないということ、鉄産労結成のときに移り、その後、今度は当時の鉄産労分会の役員がまとめて東労組に加入する動きがあり、自分は反対したんだけど東労組にいきました。それからずっと東労組に

## いきなりの強制配転に怒り、国労加入を決意

司会 (伊藤) 本日の座談会には、一時期国労を離れたものの昨年国労に加入された仲間、さらに、今年加入されたJR採用の彦田さんに参加していただいています。  
まずは、国労加入をされた仲間から、大変言いにくいとは思いますが、今後の運動の教訓にさせていただくという意味で、国労脱退したときの状況・気持ち又は外から見た国労はどうなのか?などをお聞かせ願えますか?

今年には国労東日本、さらには国労にとって数年後に振り返ってみて組織の反転攻勢につながるターニングポイントになる出来事があった一年ではなかったかと思えます。その一つは、私たちはこの間、国鉄の「分割・民営化」前後から吹き荒れた国労つぶしの不当労働行為の攻撃に対し、労働委員会闘争を活用しての差別是正を求めてきました。この闘いの中間到達点ともいえるべき、JR東日本会社との全面和解が11月6日に中央労働委員会の場で成立しました。  
今回は、新春座談会と言うことで、昨年から今年にかけて、国労加入された皆さんにお集まりいただき、加入したときの状況等ざっくばらんに語っていただきました。座談会は、まず冒頭、東日本本部高野書記長(別掲)より、報告を受けスタートしました。

三浦 私は家庭の事情で、女房も病気、父親も病気で大変なときに、地域間移動の話がなると話をしたんですけど、

## 家庭事情につ込んだ東労組思い切って国労に

んだ!何が悪い!」と反論しました。だから一部の東労組役員は苦々しく思っていたでしょう。それだからでしょうか、今回の配転でも事前の打診も何もありませんでした。



加藤 豊司さん  
東京地本

役員が言うのと、東労組の役員が言うのでは内勤の対応の仕方が違い、居心地は良かったけども強制配転されるんだつたらどっちが良いのかで今回国労に加入しました。  
東労組にいたときも、駄目なものは駄目とやっています。浦和事件等はみんな見ていたから事実には知っています。東労組役員が他の組合の人と付き合うなど言っていました。「何言ってる



三浦 勝弘さん  
盛岡地本

移りましたが、その後配転になり、保障が無かったので鉄

## 未加入でいたが配転がきっかけで

の職場で引き続き働きました。が、上司の顔を伺ったり言いなり、形式的なことは言うものの何もしないことに嫌気が差し、思い切って去年の4月青森駅に発令と共に国労にも復帰しました。発令に当たっての管理者への挨拶では「何馬鹿なことをしたんだ!」と30分くらい言われ、「地域間またありますから覚悟してください!」とも言われ、駅の見習いが終わるころに今回の地域間発令となりました。司会 貴重な話。ありがとうございます。



彦田 貴弘さん  
東京地本

## 信頼関係で国労に加入

彦田 私は当時東労組に強制加入という形でやって、仕事の悩みが数多くあり体調をくずしたりしていました。東労組というのは会社に影響力聞きませんよね?  
柴崎 私の聞いた話では、組合が受け取ってくれないと聞いたことがありますよ!  
労働組合の役割しないですよ!  
司会 JR採用のそれでは次に、彦田さんお願いします。

があるからと加入して組合費を払っているわけですから、その時の分会長にこういうことで悩んでいますと相談したりもしていました。その人は我慢するしかないよ。愚痴や不満でも管理職の人に言うとか、おかしな事を言っただけで会議室に呼ばれてあなたの考えは人事課に伝えますから。分会長は見えて見ぬ



頼関係が一番だと思います。司会 彦田くんから、組織拡大に向けた鍵は普段からのコミュニケーションと信頼関係、そしてどうフォローするかと言う話出ていたんですけど、  
加藤 あまり構えずに、本人が来たいというときにこいよ!という体制をどう作るか、悩んでる人たちが激励してフォローしてあげることが出来れば信頼関係だとかが出来ると思う。  
彦田 あとは昇進できない。今は和解しましたけど、今年が和解元年で、和解して初めての昇進試験で、和解の前は東労組でいたほうが有利だった部分で、今年俺が合格した。  
寧に国労の人に教えられて真剣に仕事やっている先輩の姿を見て国労加入しました。  
武田 職場をどう見るか?困っていることはいっぱいあって、いろんな施策がどんどん進められる。若い人はライフサイクルで運転士が駅に戻される。55歳以上は賃金カットで職場は不満がいっぱいある。とくに団塊の世代いっぱいいますから、そういう部分集約してやっていくことが拡大に繋がるんだろうと思います。国労としてきちんとやる。若し人にすれば「今こそ国労!」だし、先輩たちになれば「最後は国労で!」司会 ありがとうございます。それでは最後に、東日本執



# 全面和解から組織拡大の年に 今こそ国労!!



たんですけれど、今年の3月にグリーン車のアテンダントの関係で一方的な発令が出たんです。自分としては元職場はまったく考えていなかっただけです。あくまでも自分の希望は現地現職で、過去には元の職場に戻されるというのには無く、事前の話も無く、東労組についても強制配転されるんじゃないかなと思うって、もしやあんな組合にいて、ときに、国労の役員が誘ってくれました。たしかに、職場でものを言うにしても国労の

「そういって話をしたんですけれど、」と、出されました。その後、地域間から戻ったもの、自分がいた職場が子会社化になり出向。はじめは国労が二人だったものの一人がJR復帰し、あとは東労組で、三年が過ぎたころに上司が変わり、自分が東労組に行けば100%になることから少しづつ攻撃が始まった。家庭の状況は相変わらずの中、今変わらなければここから出されるのか・・・当時の国労分会にも相談したが、抜けることにしました。

その後は東労組として、そ

## 職場での不公平感をなくすため 国労は全力で取り組みます

書記長 高野苗実

国鉄からJR移行時の国労解体攻撃、そしてJR発足から20年あらゆる差別が行われ国労として労働委員会をはじめとした闘いを取り組んできました。

一昨年には配属事件の和解、昨年には昇進差別事件の和解。そしてバッチ事件を含めた配転・出向など一括和解が11月6日に正式に成立しました。



今後の取り組みとして、一つは和解の内容を皆さんに周知していくこと。二つは救済対象者と懸案事項の皆さんや事件としては扱っていないですが差別により配転された組合員の救済に全力をあげていくこと。三つとして国労組合員が指導車掌に初めて22名指定されましたが、総合的な割合などの課題。そして新規採用者の名簿管理についても個人情報保護法により扱われているとは思いますが、支社研修の段階で東労組がまとめて勧誘し、一部には現場長や助役が介入している事実もありました。それらの問題とグリーンアドバイザーの指定についても、今後問題として取り組んでいきたいと思います。

昇進試験についても職場によってのアンバランスや受験回数の問題など様々な指摘をいただいています。いずれにしても職場にある不公平感をどう解消していくのかということであり、今後取り組みを進めていきたいと思います。

今年に入り輸送障害が多発しています。会社も首都圏における対策を発表せざるを得ない状況であり、労働条件と安全・安定輸送、旅客サービスは一体であるという視点から引き続き安全問題について全力で取り組み、他労組の皆さんにも理解を得ながら組織の拡大につなげていきたいと思います。

なり、保障が無かったので鉄産労も抜けましたし、どの組合にも属していない時期も多いです。今回5月の配転で、自分に対して楽なところが国労だったので加入しました。来年、今の津田沼車掌区が無くなる。

加藤 この労働組合にも属していないときの立場はどうなんですか？私の知り合いにも東労組が嫌いだからと白(以下、どこの労組にも属していない人)でいる人がいるんだけど・・・組合を移ることに躊躇するんです。

柴崎 抜ける人のほうが考えていると思いますよ!

仕事のときは緊張しますよ!何かあれば自分の責任だし、誰も守ってくれないですけど、好きなことも言えるし、逆に誰とも付き合えませんが・・・一番楽ですよ。詰め所にいるよりも乗務していたほうが楽でしたよ。

来年、転勤すれば一年間で3回目です。この前の面談では、人が足りないわけでもないのに無くなるのがわかっている職場になんで配転したんですか?と、聞いたんです。そしたら、「私に言われても・・・」なんていっていましたが、でもそのおかげで国



柴崎光夫さん  
千葉地本

私が加入の動機は分会大会に出ても、浦和事件の関係の傍聴の関係とか、憲法九条とか・・・それは大切なんですけど、安全問題に対する尼崎や京葉線のトラブルとか、会社に対して突っ込まない・・・

職場の問題点、自分も当時の悩みどうしたら良いのか・・・で、現場長も、分会も見えぬふりで、最終的に自分の中で溜め込んでしまっって、国労の人は聞いてくれるけど・・・東労組の若い自分の悩みを解決するのは国労の人にも厳しいと思うんです・・・それで、最終的に脱退したわけですけど、4年間何もしてくれなかった東労組を脱退したわけですけど、最後に言われたことは、もう少しお前の話を真剣に聞いてあげれば良かった、と言われ、一部の人は挨拶もしてくれない。

拡大に向けた鍵は普段からのコミュニケーションと信



森岡英夫さん  
青年部長(当時)

たら考えろよ!見たいな話した事ありますけど・・・

藤野 彦田くんが言ったように試験問題は今年で和解から2年です。引き続き和解の履行を求めて努力しますが、もうしないと、何のための和解ということになりますし、会社に言っていかなければなりません。

司会 和解という新たな状況をかえした中で、この間の東日本本部としての組織拡大に向けた取り組みについて、青年部・青対部から報告をお願いします。

森岡 国労の人は優しくして



武田幸喜さん  
青対部長

職場の問題を  
キチンと取り上げる  
国労を信頼

い人で終わってはいけなと思います。自分が入ったときのきつかけは、富山と札幌の操車場で障害事故があり、入れ替えの仕事は大変危険なの



伊藤隆夫さん  
司会・教宣部長

で間違えれば命も無くすることが当たり前だと思って仕事しろよといわれました。初めての職場では貨物労組で、連結器とかホースの切り方とか丁

それでは最後に、東日本執行部からまとめというか、改めての決意をいただき座談会の集約にしたいと思います。

20年の攻撃に  
耐えてきた国労だから  
最後は国労で

藤野 貴重な意見ありがとうございました。私たちが20年かかれました。今度の和解は必ずしも勝利的な和解とはいえないです。しかし、皆さんと一緒に闘ってきた差別は正、公正・公平な労務管理、人事運用、そして国労敵視の労務施策変更のきつかけになると私たちは思っています。ニュースを読んでいただければここまで来たのかと思っただけだかと思えます。その後、20歳の青年が国労加入しました。引き続き何人か国労に加入する報告が来ています。今後大変な数で団塊の世代、07年問題で自然退職が出ます。20年間攻撃を受けていまだに1万人が国労東日本にいる。日本の労働運動では少ないのではないかと、極めて異例です。そして新しい人が加入してくる。一般的には経営の攻撃に對して20年間闘ったとしても、解決の時期、勝利を味わったとしても組合員はゼロ。そういった意味では、異例中の異例で日本の労働運動に對して影響のあることです。引き続き、新規採用者問題、そして、はからずとも20年間の中で残念ながら国労抜けた言った仲間に対して率直に「最後は国労で!」と呼びかけていきたい。この間の皆さんの国労加入は我々に勇気を与えていただいている。引き続き奮闘したいと思います。

司会 本日は貴重なお話、ご意見ありがとうございました。



# 新 青年部長が語る 2007 国労の歴史ある運動を、今こそ活かそう!



青年部長 木村 忠義

**あせつて七はじまらない**  
**青年部員全員が笑顔で楽しみながら、労働運動をしよう**

「国労に加入して安全なJR・明く職場を創ろう」  
 を合い言葉に!!

国労東日本本部に結集する組合員・家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年11月25日に第21回国労東日本本部青年部定期委員会を開催し、新たに青年部長になりました木村忠義です。よろしくお願ひ致します。

**平成採用者の組織化を最重要課題に**

我々、国労東日本本部青年部は第21回定期委員会に於いて、新たな常任委員体制と向こう一年間の活動方針を確立してきました。とりわけ平成採用者の「組織の強化・拡大」を最重要課題と位置付け、職場での労働条件改善、労働環境の整備、組合間差別の是正、安全・安定輸送の確立に向けて、今年一年間全力で青年部運動に奮闘して行く決意です。

1月1日現在、国労東日本内の青年部員数は数十名となっております。いよいよ団塊の世代が大量に退職を迎える時期を迎え、組合員数も減少していく中、青年労働者の「組織の強化・拡大」は必要不可欠であり、我々国労の運動も正念場を迎えてきています。

「守れるだろうか」「責任が持てない」など、今年止

**考えるより、思いを共有しよう!!**

その様な中ではありますが、昨年4名もの青年労働者の国労加入を勝ち取る事が出来ました。今回の加入で確実に言える事は、彼等の加入に対しての言葉にあるように、我々国労の歴史ある運動が間違いでないことです。職場や仕事での疑問・不満・悩みなどの声を聞き、要求として作り上げることは、まさに国労の運動、労働組合の基本である要求により団結することです。要求の多数派運動に共感・賛同し、加入しているのです。「組織の強化・拡大」は簡単に出来るものではないと我々青年部も感じています。しかし、日頃の職場での仕事を通じての平成採用者とのつながり、職場の組合活動での正しい情報と宣伝の強化が非常に重要であると思います。我々国鉄労働組合は、昨年加入してくれた彼等や、先に加入して現場の第一線で活躍している青年部員の勇気と、正義感に込める義務があると思います。

「守れるだろうか」「責任が持てない」など、今年止

**考えるより、思いを共有しよう!!**

中から労働運動を活性化させ、「安心して働き続けられる職場作り」に向けて奮闘していきましよう。その事が「組織の強化・拡大」への第一歩である、青年部一同考えています。

「守れるだろうか」「責任が持てない」など、今年止

**考えるより、思いを共有しよう!!**

我々、国労東日本本部青年部一同は、危機感を持ちつつも焦ってみても始まらない。一歩一歩確実に、「国労に加入して安全なJR・明く職場を作ろう!」を合い言葉に、メリハリを持ってやるときはやり、楽しむ時はとことん楽しむ。共に頑張りましょう!

**まちがいさがし**

正解は国労東日本ホームページをご覧ください  
 ホームページアドレス  
<http://www.e-nru.com>



**まちがいは7つ**



《問題》上の絵と下の絵を比べると7カ所のまちがいがあります。どこでしょう。

**「言いたい」劇場**  
 小菅りや子



**がん予防・検診から治療まで、とことん支援!**

健康支援金プラス! 通院も入院も同様保障に!

**健康応援団 MAX**

がんの保障 + 病気・ケガの保障

アベニール 株式会社

〒106-0004 港区新橋5-15-6 交通ビル4F

TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822

Affac

資料請求したいとお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

©詳しくは、パンフレットや「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。